平成　25　年度実施

新規事務事業マネジメントシート

作成日：平成　24　年　12　月　21　日

事務事業名	給水スタンド急速ろ過槽修繕事業		☐ 事後(中間)評価対象事業		
総合計画 政策名	03 産業活性化に向けたまちづくり	所属課	産業振興課	担　当	林務商工観光担当
総合計画 施策名	02 地域特性をいかした観光の推進	課長名	髙橋好雄	担当者名	軽部健一
予算科目	会計 1 / 款 05 / 項 02 / 目 01 / 事業 006 / 事業コード名 給水スタンド管理費	関係法令・条例等	塩谷町尚仁沢湧水供給施設管理規程		
事業期間	☑ 単年度のみ　☐ 単年度繰返　（開始年度　　年度）　☐ 期間限定（　　年度～　　年度）				

事務事業の概要（事務事業の内容を記載）

1　事務事業概要

唯一無二の貴重な地域資源「尚仁沢湧水」を適正かつ有効に活用し、地域の活性化を図るために給水スタンド（尚仁沢湧水供給施設）を運営しているところであるが、業者向けに使用する急速ろ過（砂ろ過）槽の修繕（砂の入れ替え）が平成11年度の運営開始後に一度も行われていない状況であり、今回、修繕する事業である。

本来であれば5年経過後に総量の半分、さらに5年後に残分を行うべきものであるが、前述の状況から、今回、全量（2.1㎥）を行うものである。

2　概算事業費

2,340,000円（業者からの見積額）

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動の計画（活動の量・大きさ・規模等）

施設の急速ろ過（砂ろ過）槽の修繕

② 対象（事業は誰・何を対象にしているのかを記載）

尚仁沢湧水供給施設使用許可業者の使用

③ 目標（この事業によって、対象をどうしたいのか記載）

ろ過精度に問題のない安全な原水の供給を図る。

④ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）

	名称	単位
ア	修繕回数	回
イ		

⑤ 対象指標（対象の大きさを表す指標）

	名称	単位
ア	施設使用許可状況	業者
イ		

⑥ 成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）

	名称	単位
ア	供給量	㎥
イ	使用料	千円

(2) 指標・総事業費の推移

			単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値	回		1				1
		実績値	回						
	イ	目標値	0						
		実績値	0						
対象指標	ア	目標値	業者	8	8	8	9	9	10
		実績値	業者						
	イ	目標値	0						
		実績値	0						
成果指標	ア	目標値	㎥	2,163	2,100	2,100	2,300	2,300	2,500
		実績値	㎥						
	イ	目標値	千円	653	634	634	694	694	755
		実績値	千円						

計画				平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
			県支出金	千円					
			地方債	千円					
			その他	千円					
			一般財源	千円	2,340				1,200
		事業費計（A）		千円	0	2,340	0	0	0	1,200
	人件費	正規職員従事人数		人	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間		時間		20				20
		人件費計（B）		千円	0	80	0	0	0	80
	トータルコスト(A)+(B)			千円	0	2,420	0	0	0	1,280

実績				平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
			県支出金	千円					
			地方債	千円					
			その他	千円					
			一般財源	千円					
		事業費計（A）		千円	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数		人					
		延べ業務時間		時間					
		人件費計（B）		千円	0	0	0	0	0	0
	トータルコスト(A)+(B)			千円	0	0	0	0	0	0

	評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的妥当性評価	① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	唯一無二の貴重な地域資源「尚仁沢湧水」をろ過精度に問題ない供給を行う上で必要である。	☑ 適切 ☐ 見直し余地あり		☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
有効性評価	② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	本来であれば従前（平成17年度頃以降）に行うべきであったが行われておらず率先すべきである。	☑ 適切 ☐ 見直し余地あり		☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
効率性評価	③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	本来5年ごとに修繕（入れ替え）を行うものであるが未実施であり、適正な運営を考えれば削減の余地はない。	☑ 適切 ☐ 見直し余地あり		☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
公平性評価	④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	有料である施設を使用しない尚仁沢名水パーク利用業者もあり、使用業者も伸び悩み、負担面で受益より多額になっている。	☑ 適切 ☐ 見直し余地あり		☐ 適切 ☐ 見直し余地あり

3 事前評価結果　　事前評価日：　平成　25 年　1 月　4 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性

☑ 1次案のまま採択　☐ 下記条件で採択　☐ 不採択　☐ 差し戻し

(2)採択条件	(3)指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等)
	・ろ過槽の修繕は本来5年ごとの実施が必要といわれるが、稼働率が30%程度であること、および不純物が少ないことから現在まで使用している状況。しかし、尚仁沢のブランドイメージを保つため、また、メーカーが推奨する更新時期を大きく過ぎていることから、この時期の実施は妥当と判断する。 ・本来必要とされる5年単位の更新の時期延長にあたり、次期更新の判断材料および、外部への適切な説明のため、(稼働率、良好な水質による)理由等を整理しておくこと。

4 成果検証　　事後(中間)評価日：　平成　年　月　日

事務事業実施後の概要（実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載）	

(1) 評価結果（今後の方向性）

☐ 優(成果大)　☐ 良(良好)　☐ 可　☐ 不可(成果なし・中止・計画変更必要)

(2) 総評	(3) 指示事項
	☐ 再評価対象事業